

# 平成 15 年度石川県保育士試験問題

## 社 会 福 祉 (その1)

[解答は全て解答用紙に記入すること。]

1 次の文章の ( ) にあてはまる語句を記入しなさい。

- (1) 1946年公布の日本国憲法25条は「健康で文化的な ( )」の生活を国民の権利とし、国はこの権利保障の義務を負うことになった。
- (2) 1973年、国民福祉優先の予算を組み年金額へのスライド制の導入と70歳以上老人医療費無料化などをおこなって ( ) といわれた。
- (3) 1989年、高齢社会の到来に備え、( ) が策定された。
- (4) 2000年、社会福祉事業法は社会福祉法と改正されたが、この改正は ( ) として位置づけられているもので、福祉サービスの基本理念などに関する国及び地方公共団体の責務などが明らかにされた。

2 福祉六法のうち、児童福祉法を除いた法律名を記入しなさい。

3 次の文章を読んで正しいものには 、誤っているものには×を記入しなさい。

- (1) 公的扶助とはナショナルミニムムを保障するという目的から、事業の実施主体は国で財源は租税などである。
- (2) 公的扶助の中心的役割は生活保護制度が果たしているが重度障害者への特別障害者手当等の社会手当も公的扶助としての機能がある。
- (3) 人間裁判と言われた「朝日訴訟」は、被保護者自らが人間の尊厳をめざして生活保護基準の改善に取り組んだものである。
- (4) 生活保護法「世帯単位の原則」は世帯を単位として、その要否及び程度を定めており、個人を単位とするものではない。
- (5) 保護の実施機関は保護の開始の申請があったときは、保護の要否、種類、程度及び方法を決定し申請者に対して書面をもって通知しなければならない。

4 次の事項について説明しなさい。

- (1) DV防止法
- (2) ADA

5 次の文章の ( ) の中にあてはまる語句を記入しなさい。

- (1) 近代の日本の障害者福祉に大きな影響を与えた国際障害者年の世界共通のテーマは「( イ ) と ( ロ )」である。
- (2) 障害者基本法において障害者とは、( ハ ) ( ニ ) 又は ( ホ ) があるため、長期にわたり日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける者をいう。
- (3) 1995年、国は「障害者対策に関する新長期計画」の重点施策実施計画として、( ヘ ) を策定した。
- (4) ( ト ) とは、痴呆性高齢者など自らが判断して選択していくことが不十分なため、福祉サービスを十分に活用できない人を支援する事業をいう。
- (5) ( チ ) の思想は北欧の知的障害者をもつ親たちの人権確立への運動として起こってきた。
- (6) 2003年4月、障害者福祉分野で実施された ( リ ) は、利用者が事業者と対等な関係に基づきサービスを選択する契約制度である。利用者は ( ヌ ) に支給申請する。

受 験 番 号

# 平成 15 年度石川県保育士試験問題

## 社 会 福 祉 (その 2)

6 次の事項について簡単に述べなさい。

- (1) 痴呆対応型老人共同生活援助事業
- (2) 日帰り介護事業

7 次の文章を読んで正しいものには 、誤っているものには  を記入しなさい。

- (1) 社会保障に関する経費は年々増大し続けており、歳出を支える財源の確保が問題となっている。
- (2) 所得保障のうち国民生活に広く関わり、財源上も大きな割合をしめるのが年金保険である。
- (3) 医療保障制度は現物給付するものであり、現金給付は行われていない。
- (4) 医療保険は「国民健康保険」「健康保険」「介護保険」の3つからなる。
- (5) 介護保険制度における被保険者は65歳以上の高齢者のみを対象としている。

8 次の文章を読んで正しいものには 、誤っているものには  を記入しなさい。

- (1) 社会福祉法における、市町村地域福祉支援計画と都道府県地域福祉計画の策定及び実施は、身近な地域において良質かつ適切な福祉サービスを利用することが出来る体制の整備として期待されている。
- (2) 共同募金会は寄付金の配分を行うに当たっては都道府県の承認を得なければならない。
- (3) 民生委員は、地域で住民の立場にたつて相談に応じ、必要な援助を行い社会福祉の増進に努めるとされ、市町村長の推薦により都道府県知事がこれを委嘱する。
- (4) ボランティア活動の理念は自発性、無償性、公共性、社会開発性などがあげられる。
- (5) 日本赤十字社は災害救護活動や医療事業、血液事業、ボランティアの組織化などを行っている。

9 社会福祉援助技術に関する次の文章の空欄に適切な語句を入れなさい。

- (1) バイステックの7原則の1つ ( ) とは、援助の過程で知り得た情報について他者に漏らしてはならないことをいう。情報を共有しなければならない場合は利用者に説明し同意を得ることが必要である。
- (2) ( ) とは、利用者の生活問題を解決するために利用し、活用できる物的、人的資源、情報などである。
- (3) 個別援助技術の展開過程における ( ) とは、利用者の解決すべき課題を明確にする段階で、情報収集と分析が主になる。
- (4) ( ) とは、社会福祉分野以外の専門家の意見、助言などが必要になる場合、隣接領域の医学、心理学、法律などの専門家に的確な情報と意見を受けることをいう。
- (5) ( ) とは、社会福祉問題の解決のために、多様なニーズや実態を把握、分析し、そこから解決方法を導き出すための技術である。

10 集団援助技術（グループワーク）の原則を4つあげ、簡潔に説明しなさい。

受験番号